

事務事業名		公的病院支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課
	政策	1 健康で安心して暮らせるまちづくり					担当係	地域医療係	担当課長名	川島紀昭	
	施策	2 地域医療体制の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 医療機会の充実					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	6919	一般	4	1	1	公的病院支援事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H24年度～ 年度		根拠法令 条例等	地方交付税法					
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		1-8			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)																															
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)																												
救急医療や周産期医療などの不採算医療における機能維持を図ることが多大な困難を極める中で、当該医療を担う公的病院(※1)に対し、地域医療体制の維持を図るため、支援を行う。 (※1)公立病院は含まない			<p><市の活動> 公的病院(※1)に交付金を支出するための事務(申請書の内容審査、交付決定、実績報告書の内容審査、補助金交付)。 <公的病院(※1)の活動> 救急医療、小児医療、小児救急医療、周産期医療等に関する業務を行い、患者受け入れ体制の確保に努めた</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動指標</th> <th>単位</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(見込)</th> <th>28年度(見込)</th> <th>29年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内の公立病院数</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市内の公立病院診療科目数</td> <td>科目</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	市内の公立病院数	箇所	1	1	1			市内の公立病院診療科目数	科目	17	17	17		
活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)																									
市内の公立病院数	箇所	1	1	1																											
市内の公立病院診療科目数	科目	17	17	17																											
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)																															
市民 公的病院(※1)			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)																					
			市人口		人	123,182	122,582	121,522																							
			市内の公的病院(※1)数		箇所	1	1	1																							
			市内の公的病院(※1)診療科目数		科目	20	20	20																							
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)																															
地域における市民の医療不安の解消を図る。			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)																					
			公的病院(※1)年間延べ外来患者数		人	265,574	257,303	257,303																							
			公的病院(※1)年間延べ入院患者数		人	164,921	159,670	159,670																							
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)																															
市民が安心して受診できる医療体制が整備されている。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)																					
			市内の医療体制に満足している市民の割合(市政に関するアンケート)		%	58.9	59.0	61.0	62.0	63.0																					

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	50,000		50,000		50,000					
	事業費計(A)	千円	50,000		50,000		50,000		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金補助及び交付金	50,000	負担金補助及び交付金	50,000	負担金補助及び交付金	50,000				
人件費	人	2		2		2						
のべ業務時間	時間	48		48		48						
人件費計(B)	千円	187		189		189		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	50,187		50,189		50,189		0		0		

事務事業名	公的病院支援事業	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課	担当係	地域医療係
-------	----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	本来、公立病院が担うべき不採算部門である救急医療や周産期医療などの機能維持を図ることが多大な困難を極める中で、当該医療を担う公的病院(※1)に対し、地域医療体制の維持を図るため、平成24年度から開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	今後、増々、医師不足の深刻化等により地域医療を取り巻く環境は極めて厳しい状況になると思われる。 国は、特別交付税に関する省令を改正し、市町村が公的病院(※1)の運営費に対し助成している場合、特別交付税措置の対象とした。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	以前より、公的病院(※1)から運営費に対する支援の要望は出していた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	広報やホームページ等を活用し、健康の保持増進とかかりつけ医を持つように、市民に広く啓発する。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	地域における市民の医療不安の解消と、良質な医療の提供を行なうことは、市民が安心して暮らしていくために重要かつ市の責務であり、妥当である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	公立病院を有している市の立場として、本来、公立病院が担うべき不採算部門である救急医療や周産期医療などの機能維持を図ることが多大な困難を極める中で、当該医療を担う公的病院(※1)に対し、支援を行うことは妥当と考える。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	地域における市民の医療に対する不安の解消と良質な医療の提供を行なうために、公的病院(※1)を支援することは、地域医療体制の充実に結びつく。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	本来、健康であれば病院を利用することはないわけである。万一、病気や怪我にあったとき、安心していつでも利用できる医療体制を整えておくことが必要である。そのためには、市民一人ひとりが、自分の健康は自分で守る(管理する)ことが、必要以上に医療機関(救急医療も含む)を利用することの抑制に繋がる。その結果、少しでも患者の減少に繋げ、医療現場の負担を軽減させる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	事業費の財源は、特別交付税による措置が採られることになる。措置率は100%である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	本来、公立病院が担うべき不採算部門を担っている公的病院(※1)に対し、支援を行う訳であり、妥当と考える。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	現在、公的病院(※1)に頼っている不採算医療部門を公立病院が全て賄えるようになれば、この事業は終了する。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 市民の健康の保持増進を啓発し、かかりつけ医を持って病気の早期発見・早期治療を促すことで、公的病院の不採算部門の負担の軽減につなげる。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		○		維持			×	低下		×	×	市民に広く啓発する必要がある。 広報やホームページ等を活用し、広く啓発する手段を用いる。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上		○																				
維持			×																			
低下		×	×																			